TSUMUGU “BITO”第30回定例会・ワークショップ

異なる立場との＜対話＞から自己理解と他者理解を考える

～若い世代の伴侶死別体験を題材に

2017年5月12日

die-a-log LABO 朱亀佳那子
https://www.facebook.com/diealoglabo

本日の流れ

・はじめに
die-a-log LABOの対話の場づくりについて
本日の約束事、グループワークの進め方説明

・話題提供（約15分）
「大切な人を亡くすということ
そして、その後のこと」伴侶看取り・死別体験から

・グループワーク（45分）
・グループ発表（10分）
＊＊＊
・感想、異なる立場の方が対話するために必要なこと、
場づくりの手法等について（榎本さん）

「安全に話す場」づくりのための
7つの約束

・語られた体験は、同等に尊重しましょう。
・参加者の意見は批判せず、裁かず、好意的に聴きましょう。
・考えを押しつけない、アドバイスは控えましょう。
・「伝える」姿勢で話しましょう。
・知り得た個人情報・秘密は口外しないようにお願いします。
・教える・教わるではなく、学び合う意識で。
・考えや感じ方は、一日の中でも変わっていきます。
　参加者の意見は、その方が「今」感じていることと
　受けとめましょう。

※違和感も大切に。
　ご自身の考えに気付くきっかけになります。

話題提供を聞きながら、

「状況は違うけれど、似ていると思ったこと」

「ハッとしたこと」

「もう少し聞いてみたいこと」

をメモしていってください。

のちほど、グループワークで使います。

TSUMUGU “BITO”第30回定例会／
「様々な特性を抱える当事者や非当事者が相互理解、共感に繋げる
場づくりのワークショップ」のための話題提供

大切な人を亡くすということ
そして、その後のこと

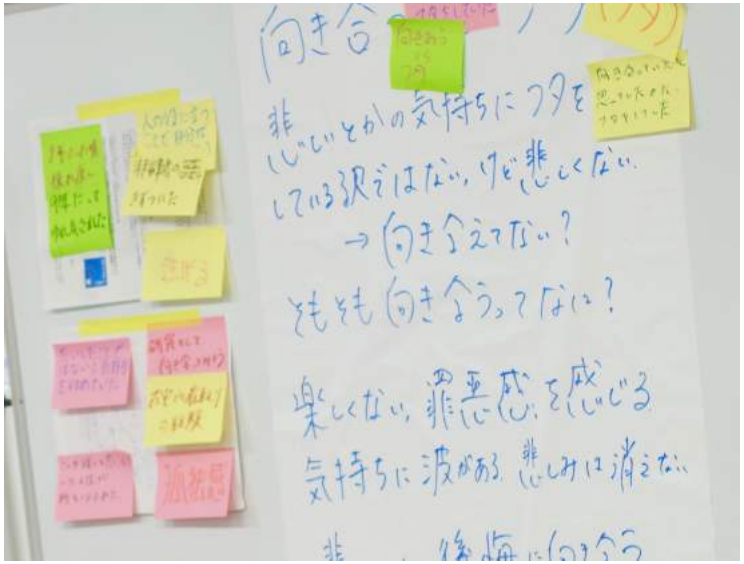
2017年5月12日

die-a-log LABO 朱亀佳那子
https://www.facebook.com/diealoglabo

話題提供の目次

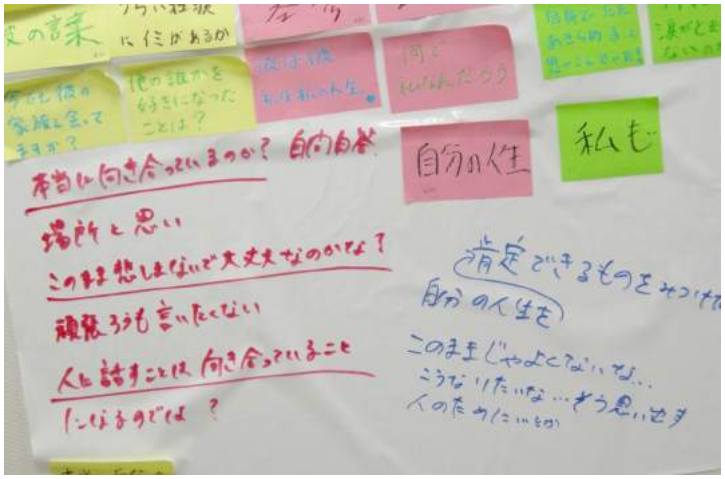
- ●自己紹介
- ●死別の衝撃と、死別後の心理
- ●当事者と非当事者が対話するとは、どういうことなんだろう？

30代から考える伴侶との死別と
グリーフ＆ライフサポート
die-a-log LABO（ダイアログラボ）



die-a-log
LABO

2014年9月立ち上げ
当事者と非当事者の対話の場8回実施
伴侶死別者限定の場７回実施



対話の目的は、
合意や論破ではありません。

対話による新しい気付きや
思考の変容そのものを
大切にしていきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。